

令和5年度 十勝農試 定期作況報告 ばれいしょ

月	作況	事由
6月20日	やや良	植付期は平年より8日早い5月2日であった。萌芽期は平年より1～2日遅かったが、6月中旬の気温が高かったことから、茎長は平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	良	開花始は平年より5～6日早かった。茎長は平年よりやや短い。気温は期間を通じて平年より高かったことから、生育が進み塊茎の肥大は早く、すでに葉茎の黄化が始まっており、上いも重は「男爵薯」が平年比136%、「トヨシロ」は同126%と平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況は良である。
8月20日	良	6月中旬以降の気温が高く経過したことから、枯凋期は平年より8～9日早かった。収穫期の平年値と比較して、「男爵薯」では、上いも数は多く、上いもの平均重はやや軽く、上いも重は平年比109%と上回った。「トヨシロ」では、上いも数は同程度で、上いもの平均重は重く、上いも重は平年比116%と上回った。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	良	植付期は平年より8日早い5月2日で、萌芽期は平年より1～2日遅かった。萌芽後、6月中旬以降の気温が高かったことから生育は進み、開花始は平年より5～6日早かった。茎長は、7月上旬の降水量が少なかったことから平年より短かった。その後も、気温が平年より高く経過したことから、枯凋期は平年より8～9日早かった。 「男爵薯」では、上いも数は多く、上いもの平均重はやや軽く、上いも重は平年比109%と上回った。「トヨシロ」では、上いも数は同程度で、上いもの平均重は重く、上いも重は平年比116%と上回った。 以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

品種名		男爵薯			トヨシロ		
項目/年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月日)		5.2	5.10	△ 8	5.2	5.10	△ 8
萌芽期(月日)		5.29	5.28	1	5.30	5.28	2
開花始(月日)		6.21	6.27	△ 6	6.24	6.29	△ 5
枯凋期(月日)		8.12	8.21	△ 9	8.19	8.27	△ 8
茎長 (cm)	6月20日	34.0	26.4	7.6	31.6	23.4	8.2
	7月20日	43.2	49.1	△ 5.9	50.8	63.5	△ 12.7
	8月20日	41.7	49.8	△ 8.1	51.7	65.0	△ 13.3
茎数 (本/株)	6月20日	4.1	4.3	△ 0.2	2.8	3.2	△ 0.4
	7月20日	4.3	4.4	△ 0.1	2.9	3.2	△ 0.3
7月20日	上いも重(kg/10a)	3,473	2,560	913	3,571	2,842	729
8月20日	上いも重(kg/10a)	4,299	4,028	271	4,827	4,245	582
	同上平年比(%)	107	100	7	114	100	14
	でん粉価(%)	15.8	15.3	0.5	15.9	16.4	△ 0.5
収穫期	上いも数(個/株)	14.1	12.1	2.0	11.1	11.0	0.1
	上いもの平均重(g)	69	74	△ 5	98	86	12
	上いも重(kg/10a)	4,299	3,956	343	4,827	4,165	662
	中以上いも重(kg/10a)	3,061	3,065	△ 4	4,201	3,519	682
	でん粉価(%)	15.8	15.1	0.7	15.9	15.6	0.3
平年比(%)	上いも重	109	100	9	116	100	16

備考) 1)平年値は、前7か年中、平成29年(豊作年)及び令和2年(凶作年)を除く5か年平均である。  
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	株数 (株/10a)	植付日 (月日)
18	3	えん麦 野生種	75	30	4,444	5.2
施肥量(kg/10a)						
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他	
8	20	14	5	なし	なし	